

新宮山彦ぐるーぷ第2231回

玉置辻から金剛多和までの奥駈道巡視・整備

◇実施日 4月23日(日) 晴

◇参加者 児嶋道夫、濱野兼吉、生熊千満子、梶野照雄、志岐敬、

山川自知、大森洋、阪口雄二

沖崎吉信、湯川一郎(車両回送)

10名

今回の巡視は玉置辻から山在峠までが基本であるが、本宮から金剛多和までは湯川君が一人で確認してくれたので、玉置辻から金剛多和までとし、金剛多和から上切原へ下山するコースで行った。

朝6時半、湯川車と梶野車で新宮を出て、上切原に梶野車を置いて湯川車で九重小学校跡に向かう。



玉置辻



小枝を刈り取る



脇道にロープ設置

7時半過ぎに九重小学校跡に着き、沖崎車と2台で玉置辻に向かった。8時17分、沖崎、湯川の2名を残して出発、風が強気温も低い。3日ほど前の暑さはどこに行ったのか。

林道から奥駈道に入る所に茂っていたアセビ等の小枝を児嶋さんが持参のヘッジトリマーで刈り取る。児嶋さんはこの後もヘッジトリマーを手に持ったまま歩き、小枝の刈取りを続けた。



本日の参加者



大森山を下る



ここで昼食

気温が低いので大森山の連続した登りも大汗をかかず、10時半前に山頂到着。しばらく休憩して先へ進む。植平さんが設置してくれたロープの助けを借りながら順調に下り、11時半、岸の宿手前の少し広くなった場所で昼食を摂る。食後はコジマカフェも開店し、30分の十分な休憩となった。

45分で五大尊岳に着く。ここからは急激な下りが続き、おまけに足元にはウバメガシの落ち葉が大量に積もっていて、かなり滑り

やすい。ウバメガシの葉は地表に落ちても腐りにくく、乾くと硬く
なって、小さなタイルを敷き詰めたようになる。葉を足で谷側に落
とすと、1m位サラサラと滑り落ちていく。この積もった落葉に全
員が悪戦苦闘。足の置き場に注意しながらゆっくりと降りたが、こ
こでかなりの時間を費やした。



五大尊岳

ロープを付け替える

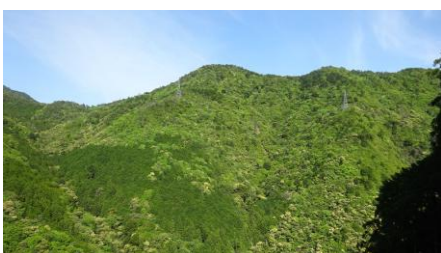
金剛多和

途中で坂口さんがロープの支点をとっている木が枯れているのを見
つけ、隣の木に支店の位置を変える。2カ所で支点の変更を行っ
た。特別に指示した訳ではないので、安全に対する意識が高いこと
に敬服する。

五大尊岳を下りきっていくつかの小ピークを越え、金剛多和に着
く。玉置辻から持ってきた上切原を示す標識を取り付けて下山を始
める。下山途中も枯れ木の排除や小枝の切除を続け、上切原に駐車
した車に戻ったのは午後4時前だった。



標識を設置



大黒天神岳



上切原に下山

今回の巡視コースは湯川君の報告やネットの情報から、倒木など
の大きな障害が無い事が判っていたため、チェーンソーは担いでい
かなかったが、全く不要だった。
(記：梶野)

行動タイム

玉置辻 08:18 → 08:53 水呑金剛分岐 ↓ 10:23 大森山 ↓ 11:28 昼食
12:00 ↓ 12:45 五大尊岳 ↓ 14:31 金剛多和 ↓ 15:19 崩落跡地 ↓ 15:
53 上切原